

令和4年度 第4回 川島町国民健康保険運営協議会会議録

招集期日	令和5年2月16日		場所	役場第2委員会室		
開閉の日時	開会	2月16日 午後3時00分		閉会	2月16日 午後3時50分	
宣告者	開会宣言者	持木会長		閉会宣言者	大久保副会長	
議長	持木会長					
席次番号	氏名	出欠	席次番号	氏名	出欠	
1	持木尊	出欠	7	上野邦弘	出欠	
2	大久保道夫	出欠	8	須長昭彦	出欠	
3	新井くみ子	出欠	9	小池雅之	出欠	
4	江口悠子	出欠			出欠	
5	遠藤三重子	出欠			出欠	
6	国島雄一	出欠			出欠	
書記	竹越律夫					
出席員 出職	税務課：田中課長 健康福祉課：石川課長・杉内主幹・竹越主査					
開会	進行：竹越主査					
挨拶	持木会長から挨拶					
議題	持木会長が議長となり司会進行					
議事録署名委員の任命	議長から江口委員・須長委員が議事録署名委員に任命される。					
(1)国民健康保険の現状について	資料No.1-1 令和4年度(令和5年1月分)国民健康保険税収納状況一覧					

(税務課長説明)

令和5年1月末日時点の国民健康保険税、現年及び滞縫の収納済額及び収納未済額について説明

(出席委員より質問なし)

資料No.1－2 国民健康保険被保険者数推移・国民健康保険給付費年度別推移(一般)

(事務局説明)

資料の人数については、令和3年度までは平均、令和4年度は10月末、令和5年度は見込数としています。被保険者数減少の理由は後期高齢者医療への移行者が多いこと、令和4年10月からは社保への加入が拡大したことにより移行するものが増えたことです。前期高齢者人数はほぼ横ばいとなっています。令和2～3年はコロナによる受診控えにより療養給付費は減少しています。令和4年度は、コロナ第6波の影響や今まで受診を控えていた方の反動により受診数は増加となっています。今年度の高額療養費は当初予算を超える見込みですので補正をいたします。

(出席委員より質問なし)

資料No.1－3 国保特別会計見込み

(事務局説明)

令和3年度に国保税の金額が変わり均等割りが3,200円減となりました。令和4年度の收支はマイナス7,000万円という状況です。前年度の繰越金が多かったので今年度は5,300万円の繰越額となる見込みです。その他令和6年度以降は見込み額です。

(委員)令和5年度以降は基金から補填して行う見込みということですか。しかし、基金も無くなった場合は税を上げることも検討するのですか。

(回答)令和5年度までは国保税の税率は変更せず、足りない部分は基金から取り崩す見込みです。令和6年度からは、国保税を上げるのかどうか検討する必要があります。

(委員)他の県では一般会計からの繰り入れを要望したとありました。県内で一般会計からの繰り入れをしている自治体の資料があるなら提供していただきたい。

(回答)一般会計からの繰り入れは決まった法定の項目は可能ですが、それ以外は禁止となっています。

	<p>(委員)さいたまの国保 11ページに載っている「他制度と比較してみると」では保険料負担率が大きい。これは国保加入者は負担が大きいということではないですか。そのため他市町村の状況も教えていただきたいと思いました。</p> <p>(回答)国保加入者の負担が少なるよう進めていきたい。</p>
(2)国民健康保険条例の一部を改正する条例について	<p>資料No.2 川島町国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めることについて (事務局説明)</p> <p>・条例の改正は2点です。1点目は国民健康保険の被保険者としない者を条例で定めること。2点目は出産育児一時金の金額を42万円から50万円に増額することです。</p> <p>(出席委員より質問なし)</p>
(3)令和4年度川島町国民健康保険特別会計補正予算(案)について	<p>資料No.3 令和4年度 川島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (案) (事務局説明)</p> <p>歳入補正の概要はマイナンバーの広報代補助金、歳出の高額療養費追加に伴う普通交付金の追加分、未就学児均等割保険料繰入金の減額分、事務費繰入金の減額分等です。歳出については、一般被保険者療養給付費及び高額療養費の追加分です。 増額となった理由としては、当初は昨年度決算額を基に1%の上昇見込みとしておりましたが、コロナウイルスの流行や受診の増により当初見込みよりも増となつたものです。</p> <p>(委員)未就学児均等割保険料繰入金がマイナスというのは、子供にかかる保険料が減額されたことによるものですか。</p> <p>(回答)子供の人数見込み数よりも実際の人数のほうが少なかったものによるものです。</p>
(4)令和5年度川島町国民健康保険特別会計当初予算(案)について	<p>資料No.4-1 令和5年度 川島町国民健康保険特別会計当初資料 資料No.4-2 令和5年度実施事業等について</p>

(事務局説明)

特定健診受診率向上を図るため、積極的な受診勧奨を行うための事業費を委託費として計上します。令和5年度はデータヘルス計画の事業評価を実施するともに令和6年度以降の第3期計画を策定します。

また、新たに高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業を実施します。今まででは国保・後期・介護での連携ができていなかったのですが、保健事業と介護を専門に扱う保健師に入っていただき健康で安心に住み続けられる町づくりをすすめます。国保では医療機関の受診歴がなく健診の受診をしていない健康状態の不明者の把握を行い、後期も行う予定です。介護部門では地域での通いの場で健康相談・栄養指導など今まで取り組んでいたものを発展させます。

(委員) 健康状態不明者の把握というのは川島町独自で行うことですか。

(回答) 保険事業と介護予防の一体的実施は厚生労働省から全国に通知があったもので令和6年度から全ての自治体で行わなければならないものです。まず、健診を受けていない方から始めようとするものです。

(委員) それは保健師が行うものですか。

(回答) 町にある専用のパソコンを使って病院の履歴ですとか健診の状況を見ることは事務でもできますが、実際の訪問は保健師が行うこととなります。

(5) その他

(事務局説明)

次回の会議は、令和5年5月18日(木)午後3時からとなります。

閉会

大久保副会長

会議録の顛末を記載し、ここに相違ないことを記する旨、署名する。

令和5年5月10日

署名委員

須長

昭彦



署名委員

江口

悠子

